

初もうで両手にいっばい大きな夢
 初恋は遠い昔の花と蝶
 初雪をテレビで観ては手をこすり
 首捻りおちる覚悟で初投句
 白鷹山初心バネにしはね返せ
 つや姫を初めて食べて頬を撫で
 「初」の字にときめくハートいつまでも
 東向き笑ってお喰べ初物だ
 初産の母を激励キック攻め
 初ものはまず仏様次ぎ家族
 雪かこい寒さ向い初仕事
 初詣で米寿の祝い感謝して
 初もうで吐く息白く身を清め
 背中押す郷土の星の初土俵
 初詣で母と拜んだ幼き日
 初詣先ず願うは日々健康
 初雪の便りが聞え冬支度
 新婚は八幡様へ初もうで
 てまえみそヨガで軟体初披露
 初恋は五十年前今は一人ぐらし
 初出勤期待と不安がいりまじり
 初雪の夢に夜明けの窓をあけ
 七福神いなかまを引きつれて
 初茸待つてくれた笑い茸
 初味の旨さわからぬ孫の顔
 初ヒコにお会しダッコ胸鼓動
 初売りのチラシに躍る特価文字
 初孫も如時の間にやら成人式
 初滑りスキーを買って夢ごこち
 初めてだ自信がないが立候補
 挫けずに初志貫徹ノーベル賞
 初曾孫笑顔福倉男の子
 初めてみつか三日坊主が透けて見え

次回「桃」一月二十五日まで。「新」二月二十五日まで。
 白鷹町大字荒砥甲八三三番地 白鷹町役場企画政策課情報係 宛

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-------|----|-------|------|-------|----|--------|----|--------|-----|------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|--------|----|-------|-----|-------|----|------|----|-------|-----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|----|------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|-----|------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|
| 長井市 | 安部ありな | 高岡 | 安部 健一 | 武蔵野市 | 池田 武子 | 山口 | 石川與次衛門 | 大瀬 | 五十公野春己 | 世田谷 | 糸 マサ | 鮎貝 | 植木 英夫 | 浅立 | 梅津 太一 | 浅立 | 梅津美千子 | 滝野 | 海老名きち | 横須賀 | 大滝 健次郎 | 萩野 | 川部 ちゑ | 荒砥乙 | 木口 とよ | 菖蒲 | 小関 弘 | 萩野 | 紺野 五月 | つくば | 斎藤 靖夫 | 鮎貝 | 神保 玲子 | 箕和田 | 鈴木 トミ | 荒砥甲 | 鈴木美貴子 | 十王 | 平 恒人 | 高玉 | 高橋 朝子 | 荒砥乙 | 土谷 灯一 | 荒川 | 戸村 絹代 | 高玉 | 橋本つね子 | 箕和田 | 樋口 昭吉 | 鮎貝 | 樋口 敏子 | 荒砥乙 | 保科 努 | 町田市 | 保高 悦子 | 十王 | 松田 久一 | 十王 | 守谷 三郎 | 十王 | 守谷 勝助 | 鮎貝 | 横沢 直太 | 山口 | 渡部喜美子 |
|-----|-------|----|-------|------|-------|----|--------|----|--------|-----|------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|-----|--------|----|-------|-----|-------|----|------|----|-------|-----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|----|------|----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|-----|-------|----|-------|-----|------|-----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|



ごみ減量
 できることから
 はじめよう
 ～③リユース～

今年の4～9月に排出された生活系ごみ(可燃・不燃)は1,199 tで、1日1人あたりにすると445 gでした。この1人あたりの排出量は、スナック菓子の袋約90枚分にあたります。(袋を5 gとした場合です。)

昨年同時期は1,216 tで、1日ひとりあたりは同じ445 gでした。

ごみの排出量全体が減少したのは、人口が減少したためと考えられますが、1人あたりの排出量は変わりませんでした。

ごみの排出量を増やさないためにできることをはじめてみましょう。

4R：3番目のR
リユース(Reuse: 再使用)

・・・繰り返して使う、修理して使う

リターナブル容器等を利用する

主なリターナブル瓶は、一升瓶やビール瓶、牛乳瓶などです。繰り返し利用することで、ごみならず、また容器の製造にかかる環境負荷を低減できます。イベント時には食器の持参を呼びかけたり、リユース食器を使用しましょう。

購入時には長く使えるものを選ぶ

不用となった場合もおもちゃ、衣類、家具、電気製品などは、必要とする人にゆずることができます。

フリーマーケットやリサイクルショップを利用する

4R = ごみになるものを
 断る・減らす・再利用・資源化